

## 様式 1

## 本事業の自走化計画

## ① 自走化の実現に向けた取組内容【4ページ以内】

本学は、開学以来、建学精神である“to Advance Knowledge for Humanity”（人類の平和と繁栄に貢献する発明と発見の探求）を標榜し、研究・人材育成に取り組んでいる。

本事業の採択以降、人材育成に関しては、『「心・技・体」三位一体による世界で活躍する革新的ICT人材の輩出』という構想の下で、ICTイノベーションによる世界へ羽ばたく創業の志「心」、競争力の強いICT設計・開発・活用力「技」、多文化環境における適応・調整・統合力「体」が一体となって育まれる国際環境の提供の具現化に加速的に取り組んでいる。

本事業によって、これまで、ICTグローバルプログラム全英語コースの整備・供用を開始し、安定的な留学生の受入に繋げるなど、学部グローバル化が着実に進展し、本学教育の根幹になりつつある。また、シリコンバレーの拠点を活用したインターンシッププログラムにおけるAI、IoT等の最新技術を活かしたモノづくりなどの取組によって、学生のモノづくり精神が生まれ、外部コンテストに挑戦する学生や海外留学又は海外インターンシップを希望する学生が増加している。

今後、これらの学生が建学の精神に基づき、グローバルな視点を持って地域振興プロジェクトや先進的なベンチャー起業等に積極的に関わっていけるよう、引き続き、意識付けしていくことを視野に入れ、本事業で具現化した各種施策を発展させる。

事業の自走化に向けては、学内予算への内在化に加え、クラウドファンディングの活用やプログラムフィーの徴収、寄附金の募集、国内外の企業・団体との連携強化による外部資金等の獲得に伴う基金設立の検討など、多次元にあらゆる努力をして必要な財源を確保していく。また、EMI（英語による）授業や研究発表等により、基礎英語及び専門技術英語の研鑽に引き続き取り組んでいくほか、新たに正課においても日本人を含むICTグローバル全英語コース在籍制度による学修機会を提供するなど学生の更なる英語力向上に努める。これらの取組を通して、国際交流活動の活性化と学生の自己のアイデンティティを確立させていく。

さらに、ガバナンス面では、理事長兼学長のリーダーシップが発揮できる組織体制の下、世界の社会インフラを支える人材や地域活性化と復興の推進力を持った人材を輩出する公立大学を目指してその責を果たしていく。

## &lt;SGU 主要事業&gt;

## 1. 既に内在化が済んでいる事業

- 1) オナーズプログラム
- 2) ガバナンス改革

※ 既に学内等の財源で実施しており、今後とも財源を確保して継続していく。

## 2. 外部資金等の活用及び内在化を検討する事業

- 1) ICTグローバルプログラム
- 2) 海外派遣・創業教育事業
  - ・Aizu Geek Dojo
  - ・チャレンジャーバッジ
- 3) 広報宣伝事業

- ※1 外部資金等の活用については、以下の施策の実施及び検討を行う。
- ・ 海外インターンシッププログラム実施に当たり、国内・地域のインターンシップと同様に企業等の出資について調整を開始している。引き続き、支援企業等数及び支援額の増加を目指して調整をする。
  - ・ 海外留学プログラムに関しては、JASSO 奨学金やトビタテ奨学金等の外部資金を活用して、拡充を図る。
  - ・ 目的別の外部資金獲得のため、クラウドファンディング等を介して資金を獲得し、事業費に充てるよう、仕組みづくりの検討を行う。Aizu Geek Dojo の運営に関しても、互助会制度の導入のほかクラウドファンディングの活用などについて検討を開始している。
- ※2 学内等の財源を充当する部分に関しては、見直しをかけながら効率的な実施方法等を検討していく。
- ※3 広報宣伝事業とチャレンジャーバッジについては、大学のブランド力向上及び学生の正課外活動奨励のため、効果検証やシステムの最適化を行う。

## ② 取組内容の年度別実施計画【2ページ以内】

### 【2019年度】～【2020年度】

事業の検証及び戦略・実施計画の検討

- ① 計画的及び積極的な広報戦略
- ② 効果的・効率的な学生募集戦略と活動計画（⑤とも関連）
- ③ 事業推進体制
- ④ 学内予算への内在化  
～各事業に関する学内予算の内在化の検討
- ⑤ 外部資金獲得体制と資金管理体制  
～国内及び海外インターシップの企業協賛金等獲得  
～奨学寄附金獲得に向けた調整開始  
～クラウドファンディング獲得戦略の検討  
～プログラムフィー導入の検討  
～事業推進のための基金設立の検討
- ⑥ シリコンバレーインターシップのプログラム改善
- ⑦ 中・短期の海外留学プログラム及び財源の多様化
- ⑧ 互助会制度導入
- ⑨ 英語による科目数拡大
- ⑩ 日本人学生の英語力向上に向けた取組継続
- ⑪ 分野別プログラム認証の調査（AY2019）と検討

### 【2021年度】

2019年度から2020年度の検討結果を踏まえた事業及び実施体制等の整備・段階的な運用開始

- ① 新たな戦略に基づく広報活動の開始
- ② 新たな戦略に基づく学生募集活動の開始
- ③ 新たな事業推進体制への段階的な移行開始
- ④ 学内予算への内在化の段階的实施  
～各事業に関する学内予算の内在化の段階的实施
- ⑤ 外部資金獲得体制と資金管理体制の確立  
～各プログラムに関する企業協賛金・奨学寄附金等外部資金の獲得  
及び検証・改善
- ⑥ 改善後のシリコンバレーインターシップのプログラム実施
- ⑦ 中・短期の海外留学プログラム及び財源の多様化
- ⑧ 互助会制度供用開始

<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨ 英語による科目数拡大</li> <li>⑩ 日本人学生の英語力向上に向けた取組継続</li> <li>⑪ 分野別プログラム認証の検討終了</li> </ul>
<p><b>【2022 年度】</b></p> <p>事業及び実施体制等の整備・段階的な運用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新たな事業推進体制への段階的な移行開始</li> <li>② 学内予算への内在化の段階的实施 ～各事業に関する学内予算の内在化の段階的实施</li> <li>③ 外部資金獲得の継続的獲得 ～各プログラムに関する企業協賛金・奨学寄附金等外部資金の獲得 及び検証・改善</li> <li>④ 中・短期の海外留学プログラムの多様化</li> <li>⑤ 日本人学生の英語力向上に向けた取組継続</li> </ul>
<p><b>【2023 年度】</b></p> <p>事業及び実施体制等の整備と新体制での運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新たな事業推進体制への段階的な移行</li> <li>② 学内予算への内在化の最終段階 ～各事業に関する学内予算の内在化の最終段階</li> <li>③ 外部資金の継続的獲得 ～各プログラムに関する企業協賛金・奨学寄附金等外部資金の獲得 及び検証・改善</li> <li>④ 中・短期の海外留学プログラムの多様化</li> <li>⑤ 日本人学生の英語力向上に向けた取組継続</li> </ul>
<p><b>【2024 年度以降】</b></p> <p>自走化による事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学内予算への内在化完了</li> <li>② 外部資金の継続的獲得</li> <li>③ 日本人学生の英語力向上に向けた取組継続</li> </ul>